



KUMAMOTO

GREEN Rotary-Club

The Weekly Bulletin

Kumamoto green rotary-club district 2720 rotary international

国際ロータリー 「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」

R.I. 会長 シェカール・メータ

地区方針

「ロータリーのパワーは親睦が生み出す！
あらゆる場面を親睦の機会に～話しかけよう～」

R.I. 2720 地区 ガバナー 大森克磨

熊本グリーンRC 「繋げよう・伝えよう 希望を！」

熊本グリーンRC会長 田中純司



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021～
2022年度
テーマ

■例会日：毎週月曜日 18:30～19:30
■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル
TEL096-326-3311

■創立：平成元年2月22日 ■会長：田中純司 ■幹事：田中慎二 ■会報担当：江上泰弘
■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内
TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgrc@serc2720.org

国際ロータリー
第2720地区

熊本グリーンロータリークラブ週報

第1437回

令和4年4月25日

2021 - 2022 年度 第24回

【例会】

★新型コロナウイルス感染防止の為、ロータリーソングは「マスク着用」にて歌唱します。
・「我らの生業」(ロータリーソング)

1. 閉会・点鐘 18:30

2. 食事と交歓

来訪者紹介 (江上 泰弘 副会長)

なし

友情の握手

グータッチでおこないました。

会長スピーチ (江上 泰弘 副会長)

今日は、田中純司会長が所用で欠席のため副会長の私が会長の時間を受け持ちました。私が、グリーンロータリークラブに入会したのは、1999年平成11年の11月でした。当時会員で居られた末吉会員に声をかけられました。ロータリー歴23年になります。

ここ1,2年は、蜂楽饅頭を頂けるくらいの出席ができました。コロナの影響で仕事を早く終えるようになりそれが今も続いています。それまでは、あまり顔を見せない不良会員でした。

職業分類は、印刷です。小学校か中学時代に習った、世界3大発明と言われる火薬・羅針盤・活版印刷術の印刷です。発明当時は、聖書や歴史、技術書などが盛んに印刷されたようです。

私は、VHSビデオが最盛期のころ電気部品会社に在籍していましたが、一人娘の妻を持ってから数年後に妻の実家の家業である印刷会社を継ぎました。

ルネサンス時代の15世紀に活版印刷が発明されて長く続きますが、現在はオフセット印刷が主流になっています。水と油の反発を利用して印刷をします。カラーの印刷はCMYK(藍・紅・黄・墨)の4つの色を重ねていろいろな色に仕上げます写真も4色で再現します。

グリーンロータリー・クラブの例会日がきても、出席するかどうか決めるには及びません。

というのは、私にとって出席は決まりきった事だからです。これは、ロータリーに入会したとき受入れた義務の一つです。

卓話予定

5/9 NPO法人トナリビト 代表理事 山下祈恵 氏

5/16 「新旧クラブ協議会」

5/23 「次年度活動方針の為の家庭集会」★終了後、西里校区ホテル鑑賞会

5/30 定款第7条第1節により例会取り止め

[熊本グリーンRC ホームページアドレス] <http://www.kg-rc.com/>

ここ10 数年でコンピューター化やインターネットの普及また、簡易包装の奨励、事務所のペーパーレス化など紙媒体の受注が減少してきました。そしてコロナ禍でイベント、観光の減少も痛手になっています。この業界は、最盛期で経済規模が10兆円と言われていましたが現在は、半分の4兆円ほどに縮小してしまいました。今後は、ネットと融合した印刷、情報発信を伸ばしていきたいと思っています。

幹事報告 (田中 慎二 幹事)

■ 報告事項

次週5月2日(月)は、ゴールデンウィークの中日でもありますので、当クラブの例会は休会となっております。お間違えの無い様にして下さい。

[例会変更・取り止め]

<例会変更>

[熊本平成 RC]

4月27日(水)の例会は、夜例会のため、同日12:30より ANA ホテルニューホテル熊本にて行います。サイン受付はございません。

[熊本西南 RC]

5月12日(木)の例会は、オンライン例会で、同日12:00より行います。

<例会取り止め>

[熊本城東 RC]

5月20日(月)は、定款第7条第1節(祝日週)に基づき例会を取り止めます。サイン受付は行いません。

スマイル (山口 翼 会員)

●江上 泰弘 君、田中 慎二 君

「23~24日で「アジア太平洋水サミット」がありました。会の報道を見

ていると熊本は本当に良い水に恵まれて幸せだなと思いました。熊本の水に感謝!!」

●伊津野良治 君、大友 利行 君、栗山 義則 君

「地区協議会に、ピンチヒッターで出席しました。ZOOMでしたので、おたおたしているうちに終わってしまいました。公共イメージ部会の内容がうまく伝えられるか心配です。」

出席報告 (宮部 康弘 会員)

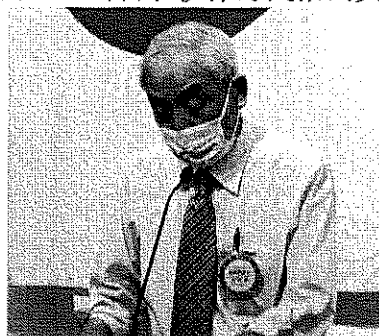
	会員総数	22名	出席率
4月25日	出席免除会員数	0名	50.00%
	計算上会員数	22名	
	出席会員数	11名	
3月28日	前回の出席会員数	17名	81.81%
	メイクアップ数	1名	
	修正出席会員数	18名	
メイクアップ済み会員及びメイクアップ訪問先			
・3/29 熊本東 RC 大友会員			

3. 例会プログラム

演題

「地区修・協議会報告」パート2

公共イメージ部会 伊津野良治会員



出席:河島 一夫 委員長

伊津野 良治 副委員長

協議会会長:波左間 英樹 会員

今年度方針:1, ロータリーの広報。2, ワンストップサービス。3, メディア対応。4, 出前セミナー。の4項目とされ、

委員長ほか、石蔵尚之 会員，早見琢也 会員などより説明があった。

基本方針:公共イメージ、または広報部門の基本的な目的は、ひそかに良いことを行うのではなく、ロータリー内でも、外でも広く周知を図り、ロータリー外の人々にも知ってもらって、賛同者を広げ社会全体を改善出来ていくようにすべきである。

その手段として、新聞・TVなどのマスメディアとの関係を深め、ツールとして日常、多用できるようにする。各クラブ間の連携、情報精通のため、各クラブのホームページ等を活用して、横の情報を密ならしめ、また、ロータリー地区本部への連絡で、いわゆるワンストップサービスの状態にして、各クラブからの情報が地区本部、メディア、一般社会へ一度に広報できる様にする。

その他、出前サービスというのは、地区委員が各クラブに出張して卓話その他で広報に近づいて頂くことであり、ロータリーショウケースケースという概念は、これは各種の新規事業を提案、提出する際等で、過去の事例、ケースの検索を行う必要が有る際に使用できるように整備するものである。又報告の内容についても記事のみでなく写真等必ず含めてほしい、との事であった。

最後に堀川ガバナー エレクとよりコメントがあり、「ロータリーとは何か」という基本的な問題に対し、増強、財団等多数の委員会に対し、公共イメージ委員会は、各クラブの活動戦略、各委員会の入り口には、たどりつけてほしい、と締めくくられた。

社会奉仕部会 田中純司会員 (代読 宮部康弘次期幹事)



4月23日土曜日午後3時から開催された社会奉仕部門の協議会(Zoom)に出席しました。

熊本西陵 RC の追立武社会奉仕部門長の挨拶から始まり、社会奉仕委員会の委員紹介、地区スローガン「ロータリーはつながりで溢れている」~友情いっぱい仲間となにかよいことをしましょう~について、社会奉仕部門の役割、社会奉仕部門の活動方針、RCCの説明がありました。RCCとはロータリー地域社会共同隊のことで、ロータリアン以外の人びとが集まり、柔軟なかたちで活動に参加する、ロータリーの奉仕のパートナーで地域の課題を地域で解決する団体です。日本では30弱のクラブが提唱しているそうです。具体的な活動として、熊本西陵 RC が提唱している活動で”要約筆記サークルひまわり”の紹介がありました。

次に、同じく熊本西陵 RC の山角智秀委員から子ども食堂支援についての話がありました。令和2年に創設された「熊本県子ども食堂ネットワーク」の支援をしていて、熊本県内の49の子ども食堂が加盟して、お互い協力して支援物資の足りないところを補い合っているそうです。熊本県内の校区は350校区あり、目標としてはすべての校区に子ども食堂を広げることだそうです。そして、ベトナムの労働者・学生のための食堂支援、ウクライナ避難民への支援のお願いもありました。

大分南 RC の岩川義枝委員長から”自閉症・発達障害の方々”の支援をしている(ブルーライトアップ実行委員会)の話、追立武社会奉仕部門長から出前セミナーの話、最後に堀川ガバナーエレクトの挨拶で終わりました。

米山記念奨学部会 大友利行会員



大森克磨ガバナー以下、江河好洋米山部門長、山下記之米山副部門長、立野文生資金推進委員長、陶山誠司奨学生選考委員長、片山勇奨学生・学友支援委員長

等ご出席のもとに報告がありました。2720地区以外の米山奨学生にも便宜を与えること(例えば、旅行してきたとかの場合)。7月から12月の間に奨学生の方々に各クラブを訪問してもらうことなど。今、地区の奨学生は、9の国からの学生さんで全部で20名程度とのこと。募集は9月3日から9日の1週間にZOOMですとの事。12月に奨学生の選考をして、世話クラブもその時決定するなどが報告されました。資金にはクラブと個人寄付を受けて、その金額に応じた表彰をすること。その金額は色々ありましたが、すべて口頭のお話で、手元に文書が無くいただきたいの報告です。

ロータリー財団部門 荒木一之会員



4月24日13時よりオンラインにて研修会がありました。まず冒頭に大分、熊本の財団推進委員より、地区内のクラブの例会、合同例会に訪問しセミナー(卓話)を行うとの発表がありました

*財団メニューから今知りたい事、学びたい事を選んでリクエストできます。

1. 地区補助金で地域を生き活きと
2. 寄付とその活用を!
3. 補助金の適切な管理
4. 世界で良い事をしよう
5. ロータリーカードで世界を救おう
6. 世界平和の為に何を
7. ロータリー財団とは?

以上のテーマで卓話を提案されました。申し込み日とクラブ名、希望テーマを記入し申し込んでくださいとのこと。

*今年度の財団委員会の活動予定です。1. 今年度の活動、地区グローバル補助金の活用、企画調査。

2. ポリオ根絶へ向けての活動、
3. 災害救援基金によるウクライナへの人道支援

・長期定期的な支援、資金の調達(寄付、

募金活動)

・地区内の避難家族の子供たちへの支援
4, 平和センターへの候補者を地区内で発掘しよう RI からの目標は年次基金、1人あたり150ドル以上、ポリオ基金は30ドル以上、恒久基金、大口寄付(1万ドル以上)の推進寄付の送金は11月財団月間に、寄付の方法をクラブで話し合っ

て決める。寄付をするという事は奉仕活動であるとして寄付が無いクラブを0にする事を推進。*地区補助金支給基準

1. ロータリー財団の使命に関連している事。例えば平和の推進、疫病との闘い、水と衛生、母子の健康、教育の支援、地域経済の発展、環境の保護などです。
2. ロータリアンが積極的に関与する事

*地区補助金支給資格2

- 1地区補助金管理セミナーに出席していないといけない
- 2MOUと各種書類を期限内に提出する
3. ロータリー財団の使命に添った事業である事
4. ロータリー財団地区補助金及びグローバル補助金の「授与と受託の条件に添っている事
5. 補助金額が総予算の半分以下である事
6. 年次基金の寄付額が0クラブは無資格
7. 申請事業は各クラブ1事業とする
8. 算出した補助金の1000円未満は切り捨て
- 9地区内での補助金申請額が地区の予算を超えた場合は地区R財団補助金審議・監査委員会にて議論し決定する

*補助金の対象にならないもの(例)

1. 特定の人や団体などの対する継続的または過度の支援
2. 土地建物の購入。新たな建物の建設(回収は可能)
3. 創立記念式典、娯楽活動などのロータリー行事に関する経費、地域の人ではなくロータリアンに恩恵がある事業。
4. ロータリー以外の団体が主体になって開始した活動。
5. 協力団体などへの使途無指定の現金寄付。
6. 既に進行中または完了したプロジェクト。

*補助金の対象になるもの

- 1, 創立記念式典での記念事業(R 財団の使命に沿うプロジェクト)
- 2, 2014~15年より、スポーツ大会も上限20万まで(障害者対象)は可能、食事代は不可。

*補助金手続きの仕方 補助金セミナーに参加2月、地区とMOU(覚書)を交わす(各クラブ)2月末まで受給計画書を提出(各クラブ)3月末まで、地区補助金の申請5月末まで 地区補助金専用口座開設(承認連絡書到着後)7月頃地区への補助金送金依頼書送付、事業開始前、補助金が地区からクラブへ入金、事業開始時 事業実施、3月末まで、 事業報告書を地区へ提出、事業実施後 GG(グローバル補助金)とはロータリーの重点分野に該当し持続可能かつ測定可能な成果をもたらす大規模な国際活動を支援する。クラブと地区はグローバル補助金を通じて地域社会のニーズに対応する活動を行うことで、グローバルなパートナーシップを強化できます。ロータリー財団は慈善活動を目的とする公共慈善団体であり、人道的、教育的活動の寄付を受け付け、資金を分配する非営利団体である。そのプロジェクトに総額40億ドル以上の資金を提供してきた。日本で2人目のロータリー国際奨学生は緒方貞子氏で1951年にジョージタウン大学で勉強したそうです。2002年に創設されたロータリー平和センター卒業生は1400人を超え115か国以上で活躍しています。もしフェローシップに推薦されるような方があれば積極的に支援していくとの事でした。もし選ばれば約2年間の援助が7万5千ドルあるようです。プログラムへの申請資格はまず英語が堪能である事、学士号を取得している事、異文化間の理解と平和への強いコミットメントがある事、優れたリーダーシップスキルを実証していることです。候補者の推薦をする場合地区財団活動資金を利用する事は無いようです。何人でも推薦できる年齢の制限はありません。最後にロータリーの募金活動のうち今回ロータリーカードのご案内がありました。マスターカードとダイナースカードで利用額から0.3%法人ですと0.5%の寄付がポリオ根絶資金に使われるとの事です。ちなみに2019年度、1134万、2020年度は949万が寄付されたようです。ロータリーにおいて、寄付とは社会貢献である。

全体会 総括 田中慎二次期会長



あらためましてこんばんは 本日は去る4月3日に開催されました『地区研修・協議会』のご報告をしたいと思います。10時よりZOOMを使った、WEBミーティングという形式で開催されました。プログラムは以下の様に進みました

1. オープニングビデオ上映 次期RI会長、ジェニファー・E・ジョーンズ氏
2. 堀川ガバナーエレクトの点鐘
通常であれば国歌斉唱とロータリーソングの斉唱ですが、WEBミーティングの為省略
3. 大森ガバナーの挨拶と続き
4. 瀧次年度地区研修リーダーの挨拶と本日の研修について説明へと続きました
研修は15分ほど行われ、演題『地区研修・協議会の意義と目的』の説明がありました
5. 挨拶は、膳所ガバナーノミニ、三村ガバナーノミニデジグネートと続き
6. いよいよ堀川ガバナーの公演が始まりました

演題は『次年度RIテーマと地区方針・地区スローガン』です

まず、次期RI会長の紹介です 次期RI会長は、ロータリー初の女性会長『ジェニファーE、ジョーンズ』氏 カナダ・オンタリオ州『ウィンザー・ローズランドRC』出身 RI女性初の会長に選出と紹介がありました 1997年ロータリー入会、RI副会長、理事、研修リーダー、委員会委員長、モデレータ、地区 ガバナー等を歴任され、今回RI会長に選任されたとのことです。氏は最近告白で『やっと会長エレクト室に座れることが嬉しくて仕方ありません。長年、私が尊敬 のまなざしを向けていたこの空間で仕事ができるのですから。』と告白をされたとのことです。次に、RIテーマです 2022~2023年度RIテーマは『イマジンロータリー』となっています

ジョンレノンの『イマジン』の歌詞を少し引用され 想像してください、私たちがベストを尽くせる世界を。私たちは毎朝目覚めるとき、その世界に変化をもたらせると知っています。昨日のことをイマジン(想像)する人は居ません。それは未来を描く事です。

- ・ポリオの無い世界を想像してください
- ・みんなが安全な、水を使える世界を想像してください

- ・疾病のない世界、すべての子供が読むことのできる世界を想像してください

- ・やさしさ、希望、愛、平和に満ちた世界を想像してください だからこそ、RIテーマを『イマジン・ロータリー』としたと説明が有りました。RI会長、RIテーマの説明が終わり、地区のせつめいに入りました 次期会ガバナーは堀川貴史氏(昭和39年生まれ 57歳)熊本南ロータリークラブ 2000年4月3日入会との事ですので、ロータリー歴は22年との事でした 次に地区のテーマと重点政策の説明に移りました 堀川ガバナーエレクトの2720地区のスローガンは

『ロータリーはつながりで溢れている』サブタイトル~友情いっぱい仲間となにかよいことをしましょう~

との発表がありました まずは、会員同士で親睦をもっと深め、仲間になり、よいことをすることによって『豊かな人生』をおくり『事業の繁栄』を成し遂げ『世界の平和』を実現させましょうとのお話がありました

ロータリーの基本はまず例会に参加すること・・・ 例会に参加し、友情を作り、信頼をもちえ、親睦を深める、例会を通じてこの三つを回すことにより理想とされるロータリーライフを送る

『入りて学び、出でて奉仕せよ』

の考え方の説明を受けました

その他の重点項目として

- ・2720地区のやる気スイッチON
 - ・新入会員の退会防止
 - ・各クラブの例会サポート(出前セミナー)
 - ・メディア対応のワンストップ化(公共イメージ)
 - ・ZOOMミーティング窓口(部門、各グループ)の開設
 - ・休日は家庭生活に奉仕の理想を最大限適用
- の方針が示されました 最後に、RIテーマ

と重複する最重点項目になっている『DEI』の説明がりました

D…Diversity(ダイバーシティ) 多様性は老若男女すべての人々

E…Equity(イクイティー) 公平さはすべての人に公平な世界

I…Inclusion(インクルージョン) 包摂(ほうせつ)誰も排除されず全員が参画する

RI・地区共にこのDEIの基本方針を基に1年を進めていきたいとのことでした。次に、7番目のプログラム

視川ガバナーの『メタモルフォーゼ』公演が有りました 研修の時はメタモルフォーゼの意味が分からず、後日調べましたが、ドイツ語で変身・変形等との意味だそうです。ポールハリスの誕生からロータリー設立までの物語で、ウィスコンシン州で生まれやんちゃな少年だったハリスが、世界を転々とし、シカゴで弁護士になり37歳で有志4人でロータリーを設立したところまでの物語でした。ポールハリスはかなり幼少期はヤンチャだったようで、両親に恵まれず、祖父母に育てられたとの事、又、シカゴに落ち着くまで様々なところに行き、いろいろな職も経験していたとの事 この経験がロータリー設立にも大きく役立ったとも説明が有りました 晩年は病気を患っていたとの事、78歳で永眠した等説明が有り約45分の説明が有り講演が終わりました

8番目のプログラムは、永田壮一危機管理委員長の講和が有りました

- ・クラブ内でのハラスメント

- ・米山奨学生へのハラスメント クラブで取り組むべき危機管理対策についての説明、トラブル・問題が発生した場合は速やかに地区本部に報告することなどが説明が有りました

9. 小野地区財務委員長からの本年度会計報告

星野次年度地区財務委員長からの次年度予算承認依頼があり 10最後に作守地区幹事から今後のスケジュールについて説明が有り 11点鐘終了(堀川ガバナーエレクト) 以上が地区研修・協議会の報告となります。

4. 閉会・点鐘